

執筆者紹介（執筆順，＊は編者）

＊富樫耕介（とがし・こうすけ） はしがき，序章，第2章，第3章，第14章
編著者紹介欄参照。

＊中村長史（なかむら・ながふみ） 序章，第1章，第4章，第7章
編著者紹介欄参照。

五十嵐元道（いがらし・もとみち） 第5章

1984年 北海道生まれ。

2013年 英サセックス大学国際関係学部博士課程修了。博士（国際関係）。

元関西大学政策創造学部教授。

2025年 逝去。

著 作 『支配する人道主義——植民地統治から平和構築まで』岩波書店，2016年。

『戦争とデータ——死者はいかに数値となったか』中央公論新社，2023年〈第23回大佛次郎論壇賞受賞〉。

小林綾子（こばやし・あやこ） 第6章

1985年 栃木県生まれ。

2019年 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。

現 在 上智大学総合グローバル学部准教授。

著 作 「紛争再発と和平合意」『国際政治』第210号，2023年。

翻 訳 ジェイムズ・カー＝リンゼイ，ミクラス・ファブリー『分離独立と国家創設——係争国家と失敗国家の生態』白水社，2024年。

上野友也（かみの・ともや） 第8章

1975年 愛知県生まれ。

2007年 東北大学大学院法学研究科博士課程後期修了。博士（法学）。

現 在 岐阜大学教育学部准教授。

著 作 『戦争と人道支援——戦争の被災をめぐる人道の政治』東北大学出版会，2012年。

『膨張する安全保障——冷戦終結後の国連安全保障理事会と人道的統治』明石書店，2021年。

下谷内奈緒（しもやち・なお） 第9章

1975年 神奈川県出身。

2016年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。博士（学術）。

現 在 津田塾大学文学部国際関係学科准教授。

著 作 『国際刑事裁判の政治学——平和と正義をめぐるディレンマ』岩波書店，2019年。

「植民地支配の責任追及と和解」『平和研究』第58号，2022年。

上杉勇司（うえすぎ・ゆうじ） 第10章

1970年 静岡県沼津市生まれ。

2004年 英国・ケント大学政治・国際関係大学院博士課程修了。博士号（国際紛争分析）取得。

現 在 早稲田大学国際学術院教授。

著 作 『紛争地の歩き方——現場で考える和解への道』筑摩書房（ちくま新書），2023年。

『クーデター——政権転覆のメカニズム』中央公論新社（中公新書），2025年。

鈴木啓之（すずき・ひろゆき） 第11章

1987年 神奈川県生まれ。

2017年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。博士（学術）。

現在 東京大学大学院総合文化研究科スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座特任准教授。

著作 『蜂起〈インティファダ〉——紛争下のパレスチナ1967-1993』東京大学出版会，2020年。

『パレスチナ／イスラエルの〈いま〉を知るための24章』共編著，明石書店，2024年。

華井和代（はない・かずよ） 第12章

1975年 東京都生まれ。

2015年 東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。博士（国際協力学）。

現在 東京大学未来ビジョン研究センター特任講師。

著作 『資源問題の正義——コンゴの紛争資源問題と消費者の責任』東信堂，2016年。

『ムクウェゲ医師，平和への闘い——「女性にとって世界最悪の場所」と私たち』共著，岩波書店，2024年。

岡野英之（おかの・ひでゆき） 第13章

1980年 三重県生まれ。

2013年 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士（人間科学）。

現在 近畿大学総合社会学部准教授。

著作 『西アフリカ・エボラ危機 2013-2016——最貧国シエラレオネの経験』ナカニシヤ出版，2022年。

『その空間を統治するのはだれか——フロンティア空間の人類学』共編著，ナカニシヤ出版，2025年。

日下部尚徳（くさかべ・なおのり） 第13章

1980年 東京都生まれ。

2012年 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士（人間科学）。

現在 立教大学異文化コミュニケーション学部准教授。

著作 『現代バングラデシュ——経済成長と激動する社会』共編著，東京大学出版会，2025年。

『自分ゴトとして考える難民問題——SDGs時代の向き合い方』岩波書店，2025年。

鈴木健太（すずき・けんた） 第14章

1980年 愛知県生まれ。

2013年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。博士（学術）。

現在 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部准教授。

著作 『ユーゴスラヴィア解体とナショナリズム——セルビアの政治と社会（1987-1992年）』刀水書房，2022年。

『ユーゴスラヴィアにおける1989年——連邦解体前夜の変革と対立』『思想』no. 1146，2019年。

《編著者紹介》

富樫耕介（とがし・こうすけ）

1984年 東京都生まれ。

2012年 東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程修了。博士（学術）。

現 在 同志社大学政策学部准教授，同大学地域紛争研究センター副センター長。

著 作 『コーカサスの紛争——ゆれ動く国家と民族』 東洋書店新社，2021年。

『激化する紛争への国際関与——仲介の理論と旧ソ連地域の事例からの考察』 編著，晃洋書房，2025年。

中村長史（なかむら・ながふみ）

1986年 京都府生まれ。

2016年 東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。

現 在 共立女子大学国際学部専任講師。

著 作 『地域から読み解く「保護する責任」』 共編著，聖学院大学出版会，2023年。

『ウクライナ戦争とグローバル・ガバナンス』 共編著，芦書房，2024年。